

このまちが好き

夢かなうまち

福生

福生の教育

—発行 編集—
福生市教育委員会
事務局 庶務課

〒197-8501
福生市本町5番地
042-551-1511

主な記事 ○学校支援地域組織福生第二中学校で新規開設 ○特別支援教育講演会開催 ○「いろは新聞」中高生ボランティアスタッフ募集

小・中学校の連携の取組をさらに進めます



6月2日に第三中学校で体育祭が行われました。
(全員リレーの様子)

小中連携と小中一貫教育の 目的と効果

目的

- 「小1問題」と「中1ギャップ」の解消
- スパイラル学習の実施 等

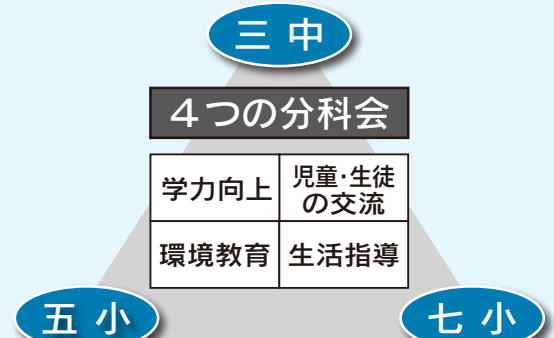
効果

連携と一貫教育により、小中学校の教職員が、共に15歳の学力と進路に責任を持って取り組み、義務教育9年間を見通した一貫性のある教育活動を行っていく。

福生市教育委員会では、「子どもたちの『生きる力』の育成」を基本方針のひとつとして掲げ、その推進事業として「確かな学力の定着」を図ることとしており、そのため、小中連携教育の推進に取り組んでいます。これまでも、各中学校区では、小・中学校が連携して、教育活動に取り組んできましたが、今年度はさらに推進を図っていきます。その取組の一つとして、福生第三中学校区（三中・五小・七小）では、本年5月に、

福生第三中学校区 研究会

☆すべての教員が、次の4つの分科会に分かれ、これまで取り組んできた研究のさらなる工夫・改善を図り、話し合いを深める。



☆小中連携の目的に沿った新たな研究や活動について、今後2年間で取り組んでいく。

小中連携とは

小・中学校がそれぞれ別々であるとの前提で、教育目標やカリキュラムの共通部分について連携する取組

小中一貫教育とは

教育目標や目指す子ども像、カリキュラムを共に作り上げる取組

小1問題とは

主に小学1年生の授業中に、勝手に教室の中を立ち歩いたり、教室の外へ出て行ってしまったりするなどの問題

中1ギャップとは

新しい環境での学習や生活に适应できずに、不登校の生徒が急増したり、いじめが増加したりするなどの問題

スパイラル学習とは

中学1年時に、新しい学習内容をいきなり教えるのではなく、小学6年生で予備知識的な内容を教えるなど、反復して学習し、学習内容の理解を深め、定着を高めること

小中連携推進事業に係る研究会が開催され、右図のように取り組んでいくことが確認されました。福生第三中学校区における連携事業が、今後、福生市の小中連携、小中一貫教育を展開していくモデルケースとなることが期待されます。取組の様子は、教育広報「福生の教育」や学校のホームページなどでもお知らせします。
問合せ 指導室 学務指導係
☎551・1948

福生市では小学校の児童を対象に、放課後、安全な見守りのもと、学年の異なる子ども同士が交流をしながら、昔遊びや工作をしたり、楽しみながら英語を学んだり、家庭などで軽スポーツやダンスを楽しんだりするなど、さまざまな体験ができる「ふっさつ子の広場」を市内全小学校で実施しています。小学生の皆さん、みんなに参加しませんか。なお、参加にあたっては事前登録が必要となります。また、子どもの見守りや読み聞かせ、英語、昔遊びなどを教えていただけるサポーター（ボランティア）も随時募集しています。

実施日 原則として月曜日から金曜日

時間 放課後（午後1時以降）

放課後子ども教室

「ふっさつ子の広場」に集まれ！

サポーター（ボランティア）も随時募集しています

※夏時間（4～9月は午後6時まで。冬時間（10～3月）は午後5時まで。

費用 登録費・参加費無料

※詳細は市ホームページ（<http://www.city.fussa.tokyo.jp>）の「ふっさつ子の広場」のページをご覧ください。

問合せ

生涯学習推進課
地域教育支援係
☎551・1958



福生第二小学校の「ふっさつ子の広場」の様子

二次元シンボルSPコードは専用読取装置で文字情報を音声で聞くことができます。

